

製品安全データシート

作成日:2017年4月1日

改定日:2023年8月9日

1. 製品及び会社情報

- ・製品名: ミスミパージ
本 SDS はミスミパージ剤製品の以下のグレードに適用される
MPG-G(ガラス含有耐熱)
- ・主用途: 熱可塑性樹脂成形機の洗浄

・会社情報

- 会社名: 株式会社ミスミ
住所: 東京都千代田区九段南1-6-5 九段会館テラス
電話番号: 0120-343-615

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類 (記載無きものはすべて、区分外/分類対象外/分類できない、のいずれか)
物理化学的危険性: ・全ての項目が分類できない又は分類対象外である
健康に対する有害性: ・全ての項目が分類できない
環境に対する有害性: ・全ての項目が分類できない

GHS ラベル要素

- シンボル: なし
注意喚起語: なし
危険有害性情報: なし

注意書き:

【安全対策】

- ・すべての安全注意(SDS など)を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・本製品を使用するときに、火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努めること。
- ・本製品を使用した後の塊は可能な限り速やかに水等で冷却後、廃棄すること。
- ・高温の本製品からはガスが発生するので換気の良い区域で使用する。

【応急措置】

- ・飲み込んだ場合、口の中を水でよく洗浄した後、異常がある場合は医師の診察を受けること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・目に入った場合、水で数分間十分に洗う。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- ・作業中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い所で安静にすること。異常がある場合は直ちに医師の診断、手当を受けること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区別 混合物

成分及び含有量

グレード	成分	含有量	管法公示整理番号	CAS No.
MPG-G (ガラス含有耐熱)	オレフィン系樹脂	企業秘密	非公開	非公開
	メタクリル系樹脂	企業秘密	非公開	非公開
	無機系添加剤(非 GF)	企業秘密	非公開	非公開
	無機系添加剤(GF)	企業秘密	非公開	非公開
	その他添加剤	企業秘密	非公開	非公開

危険有害成分 危険有害性分類基準に該当しない

4. 応急処置

吸入した場合 ・新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布などでおおひ、保温して安静を保ち、必要なら医師の診断、手当を受ける。

皮膚に付着した場合 ・石鹼を使用して十分に水洗いすること。
・溶解物の場合は、直ちに清浄な水で冷やす。火傷があれば医師の診断、手当を受ける。

目に入った場合 ・清浄な水で 15 分間以上洗眼し、医師の手当を受けること。

飲み込んだ場合 ・出来るだけ吐き出し、口の中をよく洗浄した後、医師の診断、手当を受ける。

応急措置をする者の保護 ・現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別注意事項 ・現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の処置

消火剤: ・注水、水噴射、各種消火器。

火災時の特定危険有害性: ・現在のところ有用な情報なし。

特定の消化方法 ・特になし

消火を行うものの保護: ・消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: ・床や道路に散乱した場合、滑る危険があるので速やかに清掃処理すること。

環境に対する注意: ・排水系等に漏出した場合は、魚類、鳥類等への悪影響を考え、全て回収すること。

除去方法: ・電気掃除機、ほうき等がかき集めて回収する。

二次災害の防止策: ・特になし

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:

技術的対策 ・常温で引火の恐れはないが作業場では火気をみだりに使用することを避け、
整理整頓に努める。

保管:

適切な保管条件: ・高温、火気、多湿、水濡れ、直射日光避け、常温にて屋内倉庫に保管する。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策 ・粉塵などが作業場を汚染しないように、局所排気装置及び集塵装置の設置などを適法に行うこ
とが望ましい。

管理濃度 ・設定されていない(作業環境評価基準:労働省告示第 26 号、平成 7 年 3 月 27 日)

許容濃度 ・設定されていない(日本産業衛生学会とACGIH) 保護具:

呼吸器用の保護具: ・通常必要でないが、必要に応じてマスク(有機ガス用)を着用する。

手の保護具 ・長期間又は繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。

目の保護具 ・飛散する場合には普通型眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具: ・長期間にわたり取り扱う場合または溶融樹脂を取り扱う場合には耐油性の長袖作業着等を
着用する。

9. 物理的および化学的性質

形状 固体

色 無着色

臭い 常温では無臭、溶融温度でわずかに特有の臭気あり

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

分解温度 グレード G 410°C(10 分で分解を始める)

融点 グレード G 160°Cで軟化が始まる

揮発性 なし

爆発特性 なし

溶解性 水に対する溶解性:不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性: ・通常の条件では安定、反応性はない。
- 避けるべき条件: ・使用温度範囲外での使用。
- 避けるべき材料: ・現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性: 1.経口:分類できない

2.経皮:分類できない

3.吸入(ガス):分類できない

4.吸入(蒸気):分類できない

皮膚腐食性・刺激性: ・現在のところ有用な情報なし。

眼に対する重篤な損傷刺激性: ・データ不足の為分類できない

呼吸器感作性・皮膚感作性: ・現在のところ有用な情報なし

生殖細胞変異原性: ・現在のところ有用な情報なし

発がん性: ・現在のところ有用な情報なし

生殖毒性: ・現在のところ有用な情報なし

特定標的臓器・全身毒性: ・現在のところ有用な情報なし

(単回暴露):

特定標的臓器・全身毒性: ・現在のところ有用な情報なし

(反復暴露):

吸引性呼吸器有害性: ・分類できない

12. 環境影響情報

移動性: ・現在のところ有用な情報なし

残留性/分解: ・現在のところ有用な情報なし

生態蓄積性: ・現在のところ有用な情報なし

生態毒性: ・現在のところ有用な情報なし

魚毒性: ・現在のところ有用な情報なし

その他: ・現在のところ有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: ・都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

汚染容器及び包装: ・関連法令ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: ・国連の分類基準に該当せず。

国連番号: ・該当なし

追加の規制: ・現在のところ有用な情報なし。

国内規制: ・下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定にしたがった容器、積載方法により輸送する。

陸上輸送: ・道路法、消防法に従った容器、積載方法で輸送する。

海上輸送: ・海洋汚染防止法、船舶安全法に従った容器、積載方法で輸送する。

航空輸送: ・航空法に従った容器、積載方法で輸送する。

輸送の特定の安全対策: 容器が著しく摩擦または揺動を起こさないよう運搬する。

および条件: ・その他関連法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法令

消防法: ・合成樹脂類 3,000kg以上は指定可燃物として届出等必要

化審法: ・該当しない

労働安全衛生法: ・該当しない

毒物及び劇物取締り法: ・該当しない

廃棄物の処理及び製造に関する法律: ・産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

【引用文献】

1. 許容濃度の勧告(2004)日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2004)
3. EU European Chemicals Bureau (ECB), International Uniform Chemical Information Database (IUCLID) (2000)
4. IARC suppl.7(1987)
5. IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(2006)
6. 米国産業衛生専門家会議:ACGIH documentation (2006)
7. EC 理事会指令「67/548/EEC」の付属書「危険な物質リスト」
8. 米国産業衛生専門家会議:ACGIH documentation(2001)
9. IARC Monographs programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans 33(1984)

10. WHO/IPCS:「環境保険クライテリア(EHC)」(1982)

【参考資料】

- ・安全衛生情報センター「GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報」
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite)「GHS 関連情報」
- ・日本規格協会(JIS)JIS Z 7250:205「化学物質等安全データシート(SDS)」
- ・同上 JIS Z7251:2006「GHS に基づく化学物質等の表示」

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱事業者に提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。また記載されている情報は改定日時点での情報を基に作成したものであり、その内容について保証するものではありません。

各種法令改正や製品情報の改定により今後も内容が変更されますので、販売流通事業者は、取扱事業者に対し、常に最新の製品安全データを提供するようお願いいたします。